

「うけいれ全国」では会員が
6つのワーキンググループをつくり
活動しています。

- ① **相談会WG**
原発事故被災地で、
保養・移住・健康などの相談を受ける場をつくる。
- ② **保養促進WG**
「保養」を普及させ、保養情報を必要な方々へお届けする。
- ③ **送り出しチーム・みんなの希望WG**
原発事故被災地の情報や要望を発信し、
全国の支援団体と被災地をつなぐ。
- ④ **みんなの希望ファンドWG**
より良い保養を継続するための助成事業・研修事業をおこなう。
- ⑤ **移動教室・国内留学WG**
学校や行政と直接連携し、
グループ単位での中長期的な保養活動を仲介する。
- ⑥ **移住WG**
移住支援の情報を共有し、
被災地からの移住相談を受けネットワークにつなぐ。

■協議会会員 2014年11月現在（地方自治体コード順） 全52団体

NPO法人 みみをすますプロジェクト[北海道]、フクとま[北海道]、たどしこぶしの会[北海道]、NPO法人 大沼・駒ヶ岳ふるさとづくりセンター[北海道]、社会福祉法人 札幌協働福祉会[北海道]、福島の声に耳をかたむけるプロジェクト[北海道]、3.11虹の会[青森]、公益財団法人 共生地域創造財団[宮城]、TEAM 毎週末みんなで山形[山形]、やまがた絆の架け橋ネットワーク[山形]、一般社団法人 山形県被災者連携支援センター[山形]、NPO法人 Yamagata1[山形]、福島の子ども保養プロジェクト[福島県福島市]、かふえぶらす郡山[福島県郡山市]、CRMS 市民放射能測定所[福島/東京]、3a! 安全・安心・アクション in 郡山[福島県郡山市]、いわきの子供を守るネットワーク[福島県いわき市]、銀河のほとり[福島県須賀川市]、NPO はっぴーあいらんど☆ネットワーク[福島県須賀川市]、NPO Earth Angels [福島県二本松市・福島市・郡山市]、小国からの笑顔[福島県伊達市]、りょうぜん里山がっこう[福島県伊達市]、hand to hand project kawamata[福島県川俣町]、NPO法人 森の遊学舎/こめらの森・南会津[福島県南会津町]、とちの実保養応援団[栃木]、長瀬やなせ「カラッポのおうち」の会[埼玉]、一般財団法人 みんなの森財団[東京]、福島の子どもたちとともに・世田谷の会[東京]、新潟保養プロジェクト[新潟]、311こども石川ねっと[石川]、殿下被災者受入委員会[福井]、いのち・むすびば[山梨]、子どもたちを放射能から守る信州ネットワーク[長野]、NPO法人 まつもと子ども留学基金[長野]、NPO法人KIプロジェクト[岐阜]、一般社団法人 aichikara[愛知]、311みえネット[三重]、ふくしまいせしまの会[三重]、京都・避難者サポートネットワーク[京都]、ゴー! ゴー! ワクワクキャンプ[京都]、さぼーと紡[京都]、大阪でひとやすみ! プロジェクト[大阪]、河内避難支援所[大阪府]、福島の子どもを招きたい! 明石プロジェクト[兵庫]、とっとり震災支援連絡協議会[鳥取]、子ども未来・愛ネットワーク[岡山]、NPO法人 福島の子どもたち香川へおいでプロジェクト[香川]、NPO法人 抱樸[福岡]、NPO法人 アースウォーカーズ[宮崎]、NPO法人 子ども全国ネット[全国]、母子疎開ネットワーク[hahako][全国]、NPO法人 ホームレス支援全国ネットワーク[全国]

◇共同代表

みかみめぐる NPO法人 みみをすますプロジェクト[北海道]
佐藤 洋 TEAM 毎週末みんなで山形[山形]
早尾 貴紀 いのち・むすびば[山梨]
谷瀬 未紀 NPO法人 抱樸(旧 北九州ホームレス支援機構)[福岡]

あなたの選択を応援します。

311 受入全国協議会



原発事故被災地から保養や移住という選択で
「へはなれたい」と考えているあなたを
「受け入れたい」と願い活動している
全国の団体によるネットワークです。

お問合せ



311受入全国協議会 事務局

info@311ukeire.net
〒400-0017 山梨県甲府市屋形 2-2-33
070-6615-2989

<http://www.311ukeire.net>



311 311受入全国協議会

(通称:うけいれ全国)について

2011年の東京電力福島第一原発事故発生を受けて、全国でたくさんの「受け入れ支援活動」が始まりました。私たちは2012年9月、全国の支援団体をつなぐ広範囲のネットワークをつくり、子どもたちの健康を思い不安を抱いている方々に対して、情報提供・相談会活動をおこなってきました。事故が収束していないこと、除染によっても生活環境から完全に汚染を取り除くことができないことなどを背景に、保養や移住を望む人の数は減ってはいません。しかし時間の経過と共に、募金・助成など様々な協力が下火となり、もはや「被災は終わった」との風化が始まっていると感じています。

だからこそネットワークを通じて、被災地の人々の声を全国へ届け、今のような支援が必要かを確かめることが重要であると考えます。情報提供に留まらず、ニーズに寄り添った支援の構築にも力をそそいでいます。また支援者同士の経験を共有し、支援の内容を深めていくことにも日々取り組んでいます。

「うけいれ全国」は、2012年2月に福島市で開催された「放射能からいのちを守る全国サミット」に集まった100団体以上の全国各地の支援者が、「ここで終わってはならない」と、草の根の連携を深めようとしたところから始まりました。

より安心して暮らせる未来のために
あなたが行動を起こすとき
その選択を応援したいと願っています。

——原発事故があってから——

外で遊ばせるのが不安…

健康が心配で…



ひとりで悩んでいませんか？

保養

被災地で生活しながらも、あなたやお子さんが、生活に支障のない範囲で汚染から離れた生活の時間を持てるよう、全国の団体が「保養」の準備をして待っています。心と体のリフレッシュが必要ではありませんか？

移住

お子さんが大きくなるまでは「不安のある場所から離れたところで育てたい」、また「進学のタイミングで移り住みたい」…。しかし、知らない土地への不安が大きいと思います。既に移住している方々のコミュニティや、その土地の支援者の紹介もおこなっています。

そうだん

現地相談会

原発事故被災地や避難先地域で相談会を開いています。全国の受け入れ団体と直接お話しできます。

相談会ML

相談会のメーリングリスト版。相談したい方、支援者の、どちらもが参加しているMLです。

join-311soudankai.Z
MMy@ml.freeml.com

まで空メールを送信してください。

参加の案内が返信されます。



ほよう

全国の保養情報を集めたデータベースサイト「ほよ〜ん相談会」を運営しています。

<http://hoyou.isshein.cc/>



いじゅう

移住相談窓口

070-6615-2989
(早尾：はやお)



311.iju@gmail.com

移住経験者が対応します。

学校や行政と連携した保養活動の仲介や、「ほようのみちしるべ」(保養のガイドライン。サイトからダウンロードできます)の発行、研修会の開催などもおこなっています。

